



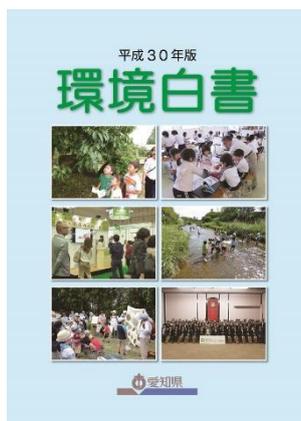
# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成31年1月号(第272号)



平成30年版環境白書を発行しました……………P2



平成30年版環境白書を発行しました(P2)



「あいちウォームシェア」を実施しています(P2)



「第53回全国野生生物保護実績発表大会」において愛知県内の学校が優秀な成績を収めました(P7)



ごみゼロ社会推進あいち県民大会及び食品ロス削減シンポジウムを開催しました(P8)



かがやけ☆あいちサステイナ研究所 成果発表会 2018を開催しました(P9)



エコアクションをはじめよう! つづけよう! つなげよう!

<http://aichi-eco.com>



## 平成30年版環境白書を発行しました

環境白書は、愛知県の環境の状況及び保全施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年議会へ報告しています。

昭和46年の初刊発行以来48冊目となる「平成30年版環境白書」は、今年度の主要な事業やプロジェクトを第1部「特集」として巻頭で紹介し、第2部では「平成29年度環境の状況と施策」を掲載しています。さらに巻末では、各法令に基づく環境基準値などを資料編として加えています。

### 特集1 地球温暖化の防止に向けて

～「あいち地球温暖化防止戦略2030」と  
「愛知県地球温暖化対策推進条例」～

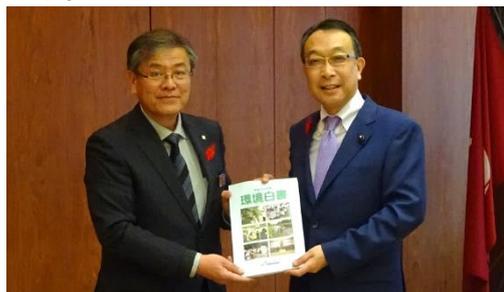
### 特集2 持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を進めます

～愛知県環境学習等行動計画2030～

### ＜環境白書をご覧になりたい方は＞

環境部 Web ページ「あいちの環境」に全文を掲載しています。<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyō/0000057223.html>

また、県民相談・情報センター（愛知県自治センター2階 情報コーナー）では、1部860円で販売しています。



まつかわこうめい  
松川浩明県議会議長（右）へ森田環境部長から報告（12月13日）

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）

## 「あいちウォームシェア」を実施しています



愛知県では、地球温暖化対策の取組の一環として、「あいちウォームシェア」を今年度から新たに実施しています。この取組は、ご家庭の暖房を使用する代わりに、公共施設や商業施設の「シェアスポット」に出かけたり、家族で一部屋に集まって暖かさをシェアするものです。

キャンペーン期間中にシェアスポットにお出かけいただいた方の中から、抽選で賞品を差し上げます。

### 1 実施期間

平成30年12月22日（土）～平成31年2月24日（日）

### 2 参加方法

ご家庭の暖房を使用する代わりに、シェアスポットへお出かけください。

### 3 応募方法

シェアスポットで配布しているチラシに必要事項

をご記入の上、郵送又はFAXによりご応募いただくか、以下のWeb ページからご応募ください。

### 4 賞品

A賞：サーモス 真空保温調理器シャトルシェフ  
…10名

B賞：タイガー ステンレスカップ  
〈ランチカップ〉…20名

C賞：ライオン トップスーパーナノックス  
ギフト…60名

### 5 シェアスポット

図書館、ショッピングセンターなどの登録施設  
詳細はWeb ページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/warmshare.html>

あいちウォームシェア2018

地球温暖化対策課 温暖化対策グループ  
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）

## 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します

～あなたにも！地球にも！未来にも！やさしいお買い物～

買い物をするとき、本当に必要かどうかを十分に考えた上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境負荷ができるだけ少ない商品を購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県では、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋及び関係団体・事業者と協働し、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中、環境ラベルが付いた商品や地元でとれた旬の野菜、詰め替え商品などの地球に優しい商品を購入し、アンケートに答えてご応募いただくと、抽選で250名様にエコ商品が当たります。



環境ラベルの一例

### 【キャンペーン期間】

1月11日（金）～2月10日（日）

### 【応募方法】

「懸賞応募はがき」又は「ネット応募フォーム」でご応募ください。



ネット応募フォームはこちらから

### 【キャンペーンイベントの開催】

2月2日（土）、3日（日）には、リーフウオーク稲沢でグリーン購入キャンペーンイベント「リーフウオークエコ博」を、ユニー（株）と共催します。グリーン購入を楽しくPRしますので、是非会場にお越しください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/2018greenkounyuucampaign.html>)

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

## あいち森と緑づくり活動発表・交流会を開催します

愛知県では、森と緑づくりにつながる活動や環境学習を行うボランティア団体、市町村などに対し、「あいち森と緑づくり税」を活用した「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

この度、「あいち森と緑づくり活動発表・交流会」を開催し、今年度支援した105団体の中から4団体の取組発表や、参加者同士での情報交換などを行います。

森や緑に関する環境保全活動を実施している方、他の団体の活動を知りたい方、新たに環境活動を始めたい方など、どなたでも無料で参加いただけますので是非お越しください。

1 日時 1月24日（木）13:30～16:30

2 場所 愛知県図書館5階大会議室  
(名古屋市中区三の丸1-9-3)

### 3 定員

150名（先着順。定員超過で参加いただけない場合のみ連絡いたします。）

### 4 申込方法

氏名、所属団体名、電話番号、Eメールアドレスをご記入の上、FAX又はEメールによりお申込みください。

FAX：052-954-6914

Eメール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

### 5 申込期限

1月17日（木）

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/happyou-kouryuu.html>)

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

# あいちエコスタンダードの目標値を一部改定しました

「あいちエコスタンダード（愛知県庁の環境保全のための行動計画）」は、事業者・消費者としての立場から、県が行う全ての事務事業について、環境負荷低減に向けた取組を自主的に推進するための取組内容、取組目標を定めたものです。

現行計画は平成 28 年 2 月に策定し、計画期間は平成 27 年度から平成 32 年度までの 6 年間です。

昨年 11 月に、あいちエコスタンダードの取組のうち、エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量に係る数値目標を改定しました。

## 1 改定のポイント

- ・「あいち地球温暖化防止戦略 2030（平成 30 年 2 月策定）」で定めた平成 42 年度の業務部門のエネルギー消費量及び温室効果ガス削減量の目標並びにあいちエコスタンダードの平成 29 年度実績を踏まえ、平成 32 年度の目標値を改定。
- ・現行計画の終了後に、平成 42 年度を目標年次とする計画を策定する予定。

## 2 改定の内容

下表のとおり。

## 3 平成 29 年度実績の概要

- ・エネルギー消費量（事務事業）、温室効果ガス排出量（事務事業及び水道事業）、用紙購入量が基準年度（平成 26 年度）より増加。
- ・他の項目は基準年度より減少。

[増加の主な原因]

- ・エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量：エネルギー消費量の多い施設の稼働、猛暑・厳冬による空調使用頻度の増など。
- ・用紙購入量：業務量の増加、配布文書の増加、PR 資料の作成等。

## 4 目標達成に向けた対応方針

庁舎別の取組状況の「見える化」を実施し、これまでのエコアップ行動の一層の徹底を図るとともに照明の LED 化への切り替え、最新の空調設備の導入等の設備面での対策を進めます。

詳細は Web ページをご覧ください。

改定版：<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/282479.pdf>

29 年度実績：<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/282477.pdf>

あいちエコスタンダードの改定内容及び平成 29 年度実績（基準年度は平成 26 年度）

取組に係る目標	基準年度実績	平成29年度実績	基準年度比	平成32年度目標値（基準年度比）		平成42年度目標（基準年度比） （参考記載）	
				改定前	改定後		
エネルギー消費量	【事務事業】 （床面積当たり）	15.9kl/ 千㎡	16.4kl/ 千㎡	+3.1%	▲6%	▲6%	▲32.3%
	【水道事業】 （取水量当たり）	49.7kl/ 百万㎡	46.8kl/ 百万㎡	▲5.8%	▲6%	▲7%	▲32.3%
	【下水道事業】 （処理水量当たり）	144.4kl/ 百万㎡	136.5kl/ 百万㎡	▲5.5%	▲6%	▲7%	▲32.3%
水道使用量	308万㎡	297万㎡	▲3.4%	▲6%	▲6%	—	
用紙購入量	1,710t	1,796t	+5.0%	▲6%	▲6%	—	
可燃ごみ排出量	5,399t	4,915t	▲9.0%	▲6.96%	▲6.96%	—	
温室効果ガス排出量	【事務事業】	148,021t	151,150t	+2.1%	▲5.8%	▲7%	▲48.1%
	【水道事業】 （取水量当たり）	88.1t /百万㎡	90.0t /百万㎡	+2.2%	▲6.0%	▲7%	▲49.5%
	【下水道事業】 （処理水量当たり）	473.7t /百万㎡	453.0t /百万㎡	▲4.4%	▲3.9%	▲7%	▲31.9%

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
電話 052-954-6240（ダイヤルイン）

## 「VOC・水銀排出抑制及び PCB 廃棄物の適正な処理促進に関するセミナー」を開催します

大気汚染の原因物質である VOC（揮発性有機化合物）や水銀の排出抑制、PCB 廃棄物の適正な処理の促進を図るため、VOC 取扱事業者・PCB 廃棄物保管事業者等を対象にセミナーを開催します。セミナーでは、VOC 等の排出抑制対策の最新動向や取組事例、PCB 廃棄物の処分の手続き等について紹介します。

- 1 日時 1月30日（水） 13:30～16:00
- 2 場所 中区役所ホール（名古屋市中区栄 4-1-8）
- 3 主催 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、  
愛知県中小企業団体中央会
- 4 定員・参加費 300名（申込先着順）・無料
- 5 内容

### 【講演】

- ① 「愛知県における VOC 排出抑制の取組等」  
愛知県環境部水大気環境課
- ② 「VOC 排出削減対策最新動向」  
経済産業省産業技術環境局環境管理推進室

- ③ 「大気汚染防止法の改正を踏まえた水銀大気排出対策」  
国立大学法人岐阜大学工学部

名誉教授/特任教授 <sup>もりとみ ひろし</sup> 守富 寛 氏

- ④ 「ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正な処理の推進について」  
環境省中部地方環境事務所

廃棄物・リサイクル対策課

### 【 VOC 排出削減対策事例の紹介 】

三洋化成工業(株) CSR 推進部長 <sup>ごうだ かつら</sup> 合田 桂 氏

### 6 申込方法

次の Web ページから申込書をダウンロードし、FAX（受付窓口：(株)プロセスユニーク 052-915-1523）により 1月15日（火）までにお申し込みください。  
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/h30vochgseminar.html>)

水大気環境課 大気規制グループ  
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）

## 「第3回アスベスト対策に関する講習会」を開催します

アスベスト（石綿）は、人が吸い込むことで中皮腫や肺がんなどを引き起こすおそれがあるため、アスベストが使用されている建築物等の解体作業を行うときは、大気中に飛散させないように、大気汚染防止法等に基づき、適切な措置をとることが重要です。

このため愛知県では、アスベスト飛散防止対策等に関する講習会を、今年度3回開催しています。

1月18日（金）に開催する第3回のテーマは、「解体等工事におけるアスベスト飛散防止対策」です。

参加費は無料ですので、是非ご参加ください。

- 1 日時 1月18日（金） 13:00～15:30
- 2 場所 中区役所ホール（名古屋市中区栄 4-1-8）
- 3 主催 アスベスト対策協議会、愛知県、名古屋市
- 4 定員・参加費 300名（申込先着順）・無料

### 5 講演

「解体等工事におけるアスベスト飛散防止対策  
～石綿含有仕上塗材を中心に～」

(一社)JATI 協会 技術参与 <sup>あさみ たくや</sup> 浅見 琢也 氏

### 6 申込方法

所属、氏名、参加人数、電話番号、Eメールアドレスを記入の上、FAX（052-961-4025）又は E メール（[mizutaiki@pref.aichi.lg.jp](mailto:mizutaiki@pref.aichi.lg.jp)）により、1月15日（火）までに愛知県環境部水大気環境課宛てお申し込みください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/3003asbest-koshukai.html>)

水大気環境課 大気規制グループ  
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）

## 水質環境基準の水域類型の見直し(案)について、 ご意見を募集しています

環境基本法に基づき、生活環境の保全に関する環境基準(水域類型)が定められた県内河川の水域類型の見直しを平成28年度から31年度にかけて順次実施しており、今年度は尾張と三河の間を流れる境川等水域の見直しを予定しています。

見直しの案について、県民意見提出制度(パブリック・コメント)に基づき、ご意見を募集しています。

### 1 意見募集期限

1月17日(木)まで(郵便は当日消印有効)

### 2 水域類型の見直し(案)の閲覧・入手方法

愛知県のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/30suiikiruiki.html>)から、資料と意見提出用紙を閲覧・入手できます。また、県民相談・情報センター、各県民相談室などで閲覧できます。

### 3 意見の提出方法

意見提出用紙により、お住まいの市町村名、性別、年齢、職業をご記入の上、郵便、FAX又はEメールにより提出してください。

<提出先>

郵 送：〒460-8501 (住所不要)

愛知県環境部水大気環境課  
調整・計画グループ

F A X：052-961-4025

Eメール：mizutaiki@pref.aichi.lg.jp

### 4 提出いただいたご意見への対応

- ・水域類型を見直す際の参考にさせていただきます。
- ・いただいたご意見については、概要等をWebページで公表します。

〔 水大気環境課 調整・計画グループ  
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン) 〕

## 「全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会」が 本県で開催されます

愛知県環境調査センターは、本県の環境行政を科学的・技術的に支える試験研究機関です。また、全国地方自治体の試験研究機関を会員とする全国環境研協議会に加入しています。

今年度は、全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会が、本県で開催されます。この研究会では、支部所属の17府県市から23件の発表が行われ、愛知県環境調査センターからも4件の発表を行います。

参加は無料です。皆様のご来場をお待ちしています。

1 日時 1月24日(木) 13:20~17:30

25日(金) 9:30~12:30

2 場所 愛知県三の丸庁舎 8階大会議室

(名古屋市中区三の丸2-6-1)

### 3 申込方法

参加申込書を以下のWebページからダウンロードし、FAX又はEメールでお申し込みください。

F A X：052-991-6241

Eメール：kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

### 4 定員

50名(先着順。定員超過で参加いただけない場合のみ連絡いたします。)

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo-c/30happyoukai.html>)

〔 環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン) 〕

## 「平成31年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で 愛知県選考作品が入選しました

(公財)日本鳥類保護連盟主催の「平成31年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」において、全国55,659点の中から、愛知県が推薦した高浜市立高浜中学校1年の杉浦瞳子さんの作品が入選しました。

このコンクールには、県内の719校の小・中・高等学校等において、30,966点の応募がありました。各学校での一次選考、各県民事務所等での二次選考を通過した75点の優秀作品の中から、県自然環境課で主催する最終審査会で特に優秀と認められた30点を愛知県選考作品として全国コンクールへ推薦しました。

県では、野生鳥類についての理解と関心を深めていただくため、入選作品を含む75点の優秀作品を愛知県弥富野鳥園で2回に分けて展示する予定です。また、愛知県選考作品30点については、愛鳥週間の期間中に、県庁地下通路にも展示予定ですので、是非ご覧ください。

### <入選作品>



高浜市立高浜中学校 1年  
杉浦 瞳子さんの作品

- 1 愛知県弥富野鳥園での展示期間 (月曜閉園)
  - ① 1月12日(土) ~ 1月27日(日)
  - ② 2月2日(土) ~ 2月17日(日)
- 2 愛知県庁地下連絡通路での展示期間  
5月10日(金) ~ 5月16日(木)

〔自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

## 「第53回全国野生生物保護実績発表大会」において 愛知県内の学校が優秀な成績を収めました

11月27日に「第53回全国野生生物保護実績発表大会」が環境省講堂で開催されました。

この大会は、環境省と(公財)日本鳥類保護連盟が主催するもので、児童生徒が中心となって行う模範的な野生生物保護活動の発表を通じて、児童生徒の活動意欲を高めるとともに、国民の野生生物保護思想の高揚に資することを目的としています。

当日は、全国から選ばれた10団体の発表が行われ、愛知県からは県大会(愛知県野生生物保護実績発表大会)で優秀な成績を収めた2校が発表し、右のとおり優秀な成績を収めました。



生平小学校の発表の様子



東海中学校の発表の様子

### <受賞結果及び活動内容>

#### ○ 岡崎市立生平<sup>おいだいら</sup>小学校【文部科学大臣賞】

昭和57年に野生生物保護モデル校に指定されて以来、野鳥の営巣調査や冬期の給餌活動を継続的に実施。近年、野鳥への関心の低下に対し、愛鳥委員会を中心に児童自ら活動の見直しを図り、野鳥に興味のない児童を巻き込む取組みを実施。

#### ○ 岡崎市立東海<sup>とうかい</sup>中学校【(公財)日本鳥類保護連盟会長褒状】

絶滅危惧種であるカワバタモロコの保護・繁殖活動や山綱川を中心とした水質・水生生物調査、北山湿地の保全活動を実施し、広報誌「NATURE OF TOKAI」の発行を通じて、地域住民への普及啓発を実施。

〔自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

## ごみゼロ社会推進あいち県民大会及び

## 食品ロス削減シンポジウムを開催しました

食品ロス（食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品）を始めとした環境問題を広く県民の皆さんに知ってもらい、考えていただくため、11月19日にアンフォーレ ホール（安城市御幸本町）で「ごみゼロ社会推進あいち県民大会・食品ロス削減シンポジウム」を開催し、約200名の方に参加いただきました。

第1部の「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」では、初めに、主催者である大村知事から、レジ袋削減などを通じた海洋ごみ汚染防止や食品ロス削減に向けた取組を県内全域に広げていきたい旨の挨拶がありました。



知事挨拶

続いて、「レジ袋削減取組店」として登録いただいている県内の261店舗のうち、レジ袋削減の取組に関して顕著な実績を収められた「レジ袋削減取組優良店」（表彰対象46店舗）の表彰が行われ、大村知事から各店舗の代表者に表彰状が授与されました。



表彰の様子

表彰後は、モデルで名古屋市出身の市川紗椰さんいちかわさやによる環境トークショーが行われ、市川さんが子供時代を過ごしたアメリカでの環境教育や趣味のスムージーづくりでの食品ロス削減の工夫などについてお話しいただきました。



トークショーの様子

第2部の「食品ロス削減シンポジウム」では、食品ロス問題の専門家である井出留美さんいであるみによる基調講演「食品ロスを減らすために私たちにできること」が行われ、食品ロスの現状や削減のための取組などについて、クイズを交えた講演を行っていただきました。



基調講演の様子

続いて、「食品ロス削減に向けて」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリスト（有識者、食品製造業者、小売業者、飲食店、フードバンク及び行政）による活発な議論が繰り広げられました。パネリストからは「食品ロス削減のためには、個人、団体、企業、行政が自主的に考え、行動することが大切」などの意見が出され、最後には参加者に更なる取組への協力が呼びかけられました。



パネルディスカッションの様子

愛知県では食品ロスを含む廃棄物削減の取組みが県民の皆さんに一層広がっていくよう、今後も様々な啓発を進めてまいります。

資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)



## 連載 サスティナ研ニュース ②

### ～成果発表会 2018 を開催しました～

大学生を対象とした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」では、12月2日(日)に名古屋市立大学で「成果発表会 2018～考えよう！未来の環境」を愛知学長懇話会と共催して開催しました。

研究員は6月の開所式以降、半年間をかけ、パートナー企業・団体から提示された環境課題に対し、現場調査や企業・団体とのディスカッション等を行いながら、解決策を熱心に研究してきました。

この成果発表会では、各チームが研究成果を来場者の皆さんの前で発表し、パートナー企業・団体から講評をいただきました。また、審査委員により決定した最優秀賞等の表彰式、今年度の研究活動の締めくりとなる修了式を行いました。

#### 1 研究成果発表

各チームは、9分間という短い時間の中でパートナー企業・団体、審査委員を始めとする約340人の来場



発表の様子

者へ、工夫を凝らした、わかりやすい発表を行いました。

各チームの発表後には、パートナー企業・団体から講評があり、「実現に向け検討していきたい」「若者らしいアイデアである」などのコメントをいただきました。

#### 2 表彰式

研究所顧問の中日新聞社の飯尾歩<sup>いいおあゆみ</sup>さんを始め4名の審査委員による審査で最優秀賞及び優秀賞を選定するとともに、来場者による投票が最も多かったチームをオーディエンス大賞に選定し、表彰式において発表・表彰を行いました。

栄えある最優秀賞は、チーム・スターボックスが受賞しました。

同チームは、スターボックスの社会貢献活動の認

知と参加を促す仕組みとして、パートナー(従業員)、お客様、友人、家族といった「人のつながり」を活用し、その意義を伝達する「伝達人<sup>でんたつびと</sup>」が次の人へ伝えることで、持続可能な社会をつくる仲間を増やす取組を解決策として提案しました。

また、優秀賞とオーディエンス大賞は、チーム・Kaoがダブル受賞しました。

同チームは、2030年頃を想定し、世界的な水不足への対策などSDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献する未来の「お洗濯」として、洗濯後の水が綺麗になる新機能を追加した新洗剤の開発等を解決策として提案しました。



最優秀賞及び優秀賞・オーディエンス大賞受賞チーム

#### 3 修了式

表彰式に続いて、研究所所長の大村知事も参加して、修了式を実施しました。

研究員を代表して、チーム・トヨタ車体



修了証授与の様子

の尾崎巧<sup>おざきたくみ</sup>さんが大村知事から修了証を受け取り、「地域の環境活動の担い手として、持続可能な社会の実現に向け、活動を実践していきたい」と今後の意気込みを述べました。

また、大村知事は、「研究活動で大いに議論したこの経験を、今後の環境活動で生かし、持続可能な未来のあいちの担い手として活躍してほしい」と修了生にエールを送りました。

〔環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)〕



高校生が専門家等の支援を受けながら、環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する「あいちの未来クリエイイト部」の活動が昨年6月から3月にかけて行われています。今号から3回にわたり、参加している3グループの活動を紹介していきます。

初回となる今回は、「愛知県立海翔高等学校 エコ・防災クラブ」の皆さんの活動を紹介します。

## 【活動データ】

## ○テーマ

三ツ又池の生物調査～海拔0m地帯の生態系～

## ○ファシリテーター

ボランティアネイバーズ 主任研究員 <sup>しんかい</sup> 新海 <sup>ようこ</sup> 洋子さん

## ○協力いただいた専門家

<sup>おおしか</sup> 愛知教育大学 <sup>きよゆき</sup> 教授 <sup>おおい</sup> 大鹿 <sup>けんすけ</sup> 聖公さん

Bio Garden With 代表 <sup>みやた</sup> 宮田 <sup>けんすけ</sup> 賢輔さん

弥富市にある海翔高校近くの三ツ又池は海拔0m地帯にあり、過去の先輩方が生き物や水質の調査を行ってきました。

あいちの未来クリエイイト部の活動では、三ツ又池の現在の生物調査を行うとともに、昔生息していた生物を調査・比較することで、三ツ又池の生態系の変化を調べています。

初めに、現在の三ツ又池に生息する生き物を調べるために、かご網を使って生き物の採取を行いました。その結果、ナマズやモツゴ、テナガエビ等の多くの在来種の他、カダヤシやブルーギル、ミシシippアカミミガメ等の外来種も数多く確認できました。



三ツ又池での調査

次に、地域の方々へのインタビューや郷土史によ

り、昔の三ツ又池に生息していた生き物を調査したところ、現在の三ツ又池で見つかった生き物の他にも、ボラやハゼ、メダカ等が棲んでいたことがわかりました。生態系の変化には、三ツ又池から流れ出る宝川の下流にある排水機場が関係しているのではないかと考え、排水機場の下流と三ツ又池に生息する生き物の違いについて調査しました。



排水機場下流での調査



採取したハゼ

その結果、排水機場の下流では、ボラやハゼ、スズキ等が確認でき、排水機場で魚が遡上できず、生態系が分断されていることがわかりました。

活動を通じて、農業や水害対策のために作られた排水機場によって、生き物の棲む環境を変えてしまっているため、人と生き物がうまく共存できる未来の三ツ又池について考えていきたいと思いました。

今後は、調査の結果を地域の方々々に伝え、未来の三ツ又池について共に考えていくための教材を作成していきます。

## 三ツ又池に現在生息していることが確認できた生物（ゴシツクは外来種・国内移入種）

魚 類：ギンブナ、ゲンゴロウブナ、コイ、ナマズ、シマドジョウ、モツゴ、ヨシノボリ類、オイカワ、タモロコ、コウライモロコ、ムギツク、タイリクバラタナゴ、カダヤシ、オオクチバス、ブルーギル、ライギョ

両生類：トノサマガエル、ヌマガエル、アマガエル

は虫類：クサガメ、スッポン、ミシシippアカミミガメ、シマヘビ、アオダイショウ

甲殻類：テナガエビ、スジエビ

貝 類：ヒメタニシ、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

〔 環境活動推進課 環境学習グループ 電話 052-954-6208 (ダイヤルイン) 〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

平成31年1月7日発行(第272号)

編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

## 編集後記

12月に子どもと参加した自然体験行事の中でバードウォッチングをしました。講師の方によると、冬は落葉により緑が少ないため、野鳥が観察しやすく、絶好の時期とのことでした。当日は、小鳥をたくさん観察することができ、子どもも大喜びでした。

寒い日が続きますが、みなさんも屋外に出て、バードウォッチングを楽しんでみてはいかがでしょうか。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。